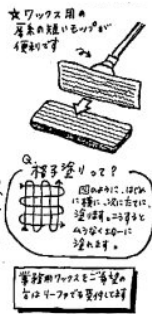


# 内部お手入れ1

## フロリングのワックスがけ

- ① まずしっかりと掃除機をかけ、拭き掃除をし、表面のゴミ、ホコリ、汚れを取り除きます。日頃、化学薬品中にお使いの方は、油分をしっかりと取り除くために、必ず「住居用洗剤(中～弱アルカリ性)」を使いましょう。お風呂用洗剤は水拭き、か拭きとし、完全に乾かすまで待たせましょう。
- ② トイレなどにワックスを塗き、モップを濡して軽く叩くようにムラなく塗っていきます。基本は木目に沿って音屋の奥から手前へ塗り、廊下へは奥側から手前へ塗り、手前は奥側から塗り、1メートルおきで塗り、手前まで下がりながら塗り、(塗る順番は水性塗料の塗り方と同じです)。
- ③ 完全に乾かします。ワックスが完全に乾かすまで歩かないこと。か拭きは不要です。二度塗りする時は表面がしっかりと乾かしているようにしましょう。



## ビニルクロスのお手入れ

手あかなど、水拭きだけで落ちない時は、住居用洗剤を薄めた液で雑巾を絞り、壁の上部から下部に向かって拭きます。そのあと、キレイに拭いた水拭き、か拭きをして仕上げます。黒ずみやシミは、薄めた塩素系漂白剤を古い歯ブラシにつけてこすりと落とす。カビが付着した場合は、スポット消毒用エタノールをつけてたたきまはらう。こすらないのがポイントです。

★ 車室はこりば掃除機で吸いましょう



## ● ブラインドを付けたままのお手入れ

- ① ホコリや液だれにそなえてブラインドの下にシートを敷きます。
- ② はねコードのホコリを払い、小型ホウキのヘッド部分を振ります。
- ③ ゴム手袋の上に軍手を重ねてはめます。バケチに用意した洗剤溶液に浸して、はねを数枚ずつ指で挟み、左右にずらすながら表面裏面の汚れを拭いていきます。
- ④ 汚れが目立つ部分は一枚ずつ拭いてください。
- ⑤ はね幅の狭いブラインドは、はねの裏面に手をあてて洗剤溶液を含ませたぞうきんで拭いてください。
- ⑥ 最後に全体を水拭きした後、ブラインドを降ろした状態で自然乾かさせます。

## ● ブラインドを取外してお手入れ

- ① 取り外す前に、小型ホウキ、ハンディモップ等で全体のホコリを払います。
- ② 平らな場所に敷いたシート等にブラインドを広げ、全体を水でぬらします。
- ③ はねが重ならないよう広げ、洗剤溶液に浸したスポットでこすり洗いをします。
- ④ ブラインドを引上げた状態にし、またまたラダーコードと昇降コードの汚れを洗剤と歯ブラシを使ってこすります。
- ⑤ 全体を水洗います。水量、水圧が強くなりすぎないように、注意して下さい。
- ⑥ 乾いた布で全体の水分を拭きとった後、はねを開けた状態で風通しの良い場所で干し、乾かします。

## ⚠️ 蓄熱式フィルターのお手入れ

ファン付の蓄熱式暖房器の場合、ファンフィルターの掃除が大切です。フィルターが詰まると空気が流れず、ファンの寿命が短くなり、十分に蓄熱されなくなります。普段のお手入れはフィルターの埃と掃除機でOK。ただし、こまめに掃除を!! 詳しいお手入れ方法はX-4による異なりがあるので、取扱説明書を見て下さい!